平成26 年度(25 年度実施分) 事務事業目的評価表 様式1-1 記入日 平成 26 年 10 月 30 日 事務事業名 No. 550501日常生活支援事業 主管課名 高齢福祉課 政策 誰もが健康で生きがいのある暮らし この事務事業 施策 みんなで助け合える福祉のまち の位置 課長名 深谷 真由美 基本事業 高齢者に安全・安心な地域社会の推進 事 (1)事業の概要 Ó 地域社会の中において自立した日常生活を送ることができるように、生活支援員により、衣類の洗濯、住居清掃、調理などの家事の援助を行う。 [対象] (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ・・・数値は(9) 状 単位 称 年間延利用者数 ・在宅で自立した日常生活を営むために社会的支援が必要な65歳以 上のみの世帯に属する人(要介護又は要支援と認定された人は除く) D 人 0 その指標 在宅介護支援センター職員による実態把握の中で、支援が必要だと思われる者に対し、週1回、2時間以内の範囲で、調理・掃除などの家事の援助を生活支援員が高齢者の自宅で行う。生活支援員事業は、シルバー人材センターに委託。 (25年度に実施 した具体的なこ の事業のやり 方、手順等) 前年と同様 26年度計画 变更内容 変更あり~ |(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物) (6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ・・・数値は(9) 社会的支援の必要な65才以上のみの世帯に属する者 名 単位 称 その指標 社会的支援の必要な65才以上のみの世帯に属する者 人 (7)成果指標(意図の達成度を示す指標) (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか) ・・・数値は(9) 生活支援員の利用を申請する 称 単位 その指標 サービス利用の申請をした人数 人 (4)結果(上位基本事業の意図) (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)・・・数値は(9) 安心して住み慣れた地域で生活してもらう 単位 その指標 サービスを利用した高齢者の数 人 (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標 指標 単位 24年度実績値|25年度実績値|26年度計画値|27年度目標値|28年度目標値 |29年度目標値 55 31 84 88 92 96 (5)の 人 活動指標 6 5 8 9 10 (6)の 対象指標 5 9 6 8 10 (7)の 成果指標 55 31 84 88 92 96 (8)の結果の 成果指標 (10)予算費目 会計 01 一般会計 項 目 款 03 01 06 年度 24年度実績値 25年度実績値 26年度計画値 27年度目標値 28年度目標値 29年度目標値 (11)コスト 事業費 (決算又は予算額) 単位 142 82 311 323 342 362 千円 国庫支出金 0 0 0 0 0 0 県支出金 千円 0 0 0 0 0 0 源 千円 地方債 0 0 0 0 0 0 内 その他 千円 0 0 0 0 0 0 訳 一般財源 千円 142 82 323 342 311 362 人件費 B 923 千円 238 238 238 238 238 時間×人 正職員従事時間×人数 245 × 1 16 × 4 16 × 4 16 × 4 16 × 4 16 × 4 正職員以外の人件費 千円 23 その他費用C 千円 23 23 23 23 トータルコストA+B+C 千円 1,065 343 572 584 603 623 単位あたりコスト 千円/ 178 69 82 73 67 62 (トータルコスト 千円/ /(6)の対象指標) 千円/

様式1-2										
2		事務事業名 No. 550501 日常生活支援事業				(O) = W C (O) =				
1 1	(1)	1)この事務事業はいつから開始したのか?				(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は?				
環境変化と住民意見等		17-70-1-7-3			から					
児	(2)この事務事業を開始したきっかけは?					 社会的に支援の必要な高齢者が、障がい者や精神疾患者など様々な				
凫							状態の高齢者となってきており、事業委託先のシルバー人材センタ			
12		社会的支援の必要な65歳以上のみの世帯に属する者に対し、在宅で				ー会員で行っている簡易な生活援助では支援が困難なケースが発生している。また、利用者自身の身体機能の低下も専門的に診ることが出来ないため、介護保険の必要度に気づきにくい。さらに社会的に支援の必要な高齢者の把握を行い支援の強化に努めることが今後				
		自立した日常生活を営むことができるよう支援するために開始する 。								
븸										
[長										
息	(3)	3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか?)\ ?		安は同梱石の治療を行	「い文板の独化に発	めることか今後	
見		変化していない _ 変化し 社会的に支援の必要な高齢者が、障がいや				の課題。				
等	変化している た内容神疾患など様々な状態の人となってきた。				きた。					
=										
3 評価 (SE		(1)この事務事業は法定受		¥	根拠法令					
		託事務ですか、それとも、	法定受託事務		法定受	託事務は(2)から(5)への記	載不要。(6)か	ら評価する	
		自治事務ですか? また、この事務事業を行う 根拠や理由はなんですか?	自治事務	_	根拠法令	みとし市日	<u>一/。</u>	143 1 2 、 (*) 12 医網		
					この事務を	10001010		ᅐᆚᄶᄴᄥᇉᄆᆕᅮ	7 +v1	
					行う根拠	イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イ	常生活支援事業実施 の必要な65歳以上の 自立した生活が営め	りかの世帝に禹96	る首に対し、地域	
					又は理由	社会の中で	日立しに土油が呂の	o ようにする。		
		(2)この事業の意図は結果	結びつく							
	目	(基本事業の意図)に結び			理由					
\vdash	目的	つきますか?	結びつかない	→						
7	器									
	当性	(3)対象を見直すこと (対象の拡大又は縮小)はできませんか?	できる ──▶	拡大──縮小──	内容					
			できない							
		(4)意図を見直すこと(意	ホ キァ ト	` 亡 +□						
		図の追加・拡充(意図の段	できる ──▶	追加						
		階は正しいか)又は絞込み	→	拡充 ┼▶	内容					
) はできませんか?			מדניו					
П			できない	絞込み一						
		(5)この事業を廃止した場	影響が大きい							
		合の影響はありますか?			理由					
			多少影響がある		文は					
			影響はない		内容					
	有动		W E 10. 0. V							
		(6)今以上に事業の成果を								
3		向上させることはできませ	できる	—	理由 又は	多種多様な高齢者の支援ができるよう、事業委託先であるシルバー				
	催	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか? 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか?			又は 内容	人材センターに福祉有資格者を配置し、自立生活支援を行う。				
	-		できない						CJ& C13 20	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
		(7)類似又は関連する事業	ある →▶	庁内事業──▼	類似事業名	<u> ゴワンコイン</u>	サービス事業シルバ・	-ふれあい隊		
		はありませんか?	0) 3	r	類似事業	ある→				
		また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか?	ない ┕▶	庁外事業─	との再編		内容			
		用対効果が向上しませんか? 	7d. V 1		の可能性	ない				
		(8)現在の成果水準のまま								
		で重業費を削減する方法は	ある		4.5					
		ありませんか?(仕様や工法	ない		内容					
	効	の変更、住民の協力など)	7d. V 1							
	率	(9)現状より人件費を削減								
	性	する方法はありませんか?	ある							
		(従事時間を削減できない			内容					
		か?正職員以外の職員や外	ない							
		部委託はできないか?)								
	小	(10)受益者負担はあります		ロルー・ナー						
		か?	ある 一 	現状で適正		A +#*/DRA =	\ 			
	苸	(10)受益者員担はありますか? か? また、受益者負担割合は適 正ですか?	ない ────────────────────────────────────		内容	介護保険の通所介護サービスの自己負担額と同様のシステムとする。(1割負担・買物加算なし)				
	性	止ですか?								
			受益者がいない	1						
\equiv					•	•				
4		(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状	維持	縮小	統合	廃止・休止	
	<u></u>		JIA/	<u> </u>	<i>-</i> π1Λ	L Laum.	. C. Ulw	₩U I	17EIL	
苡	٢		コストの方向性	維持	重業費	量の方向性	 維持	成果の方向性	 維持	
手	Ļ		コストの川門庄	が圧りむ	尹 禾貝	マッンコージュエ	ルエコグ	ルスペッハリロエ	が圧〕立	
竖	Ÿ	(2)改革・改善案								
曹	Ŋ	対象、意図、手段等	本市においても、高齢化の進展に伴い、社会的に支援が必要な高齢者は増加するため、一層の家事支援の強化が							
改革改善案	_	の見直しなど	今川にのいても、i 必要とかる 明左	司政元の元代の元代	300進展に作り、 任会的 5支援員派遣事業を季節		に又抜か必安は高齢省は増加9 るだめ、一僧の多事又抜い知んか 生しているシルバー人材センター全員では重業の専門性に今しく			
			必要となる。 現在、生活支援員派遣事業を委託先しているシルバー人材センター会員では事業の専門性に乏し 、介護保険の訪問介護事業所(ホームヘルプサービス事業者)へ委託先を変更するなど改善が必要。						1 1111111111111111111111111111111111111	
1			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		" " "		_,	- 5	-	